

【プロデューサー型】京丹後市地域おこし協力隊募集！

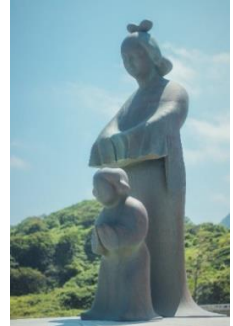
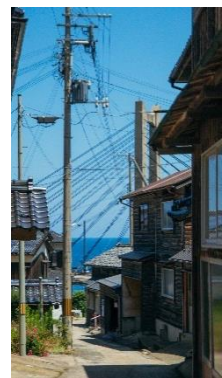
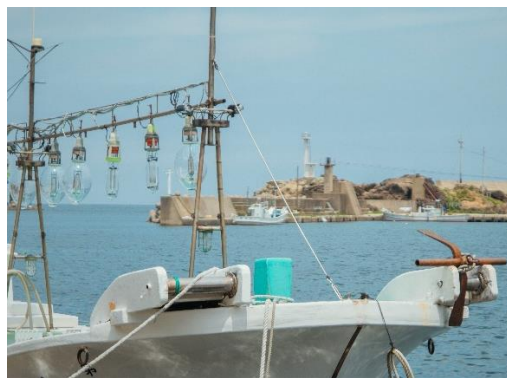
難解な地名と幻のブランドガニで有名な間人(たいざ)。「海」「歴史」「景色」「おいしい食べ物」などこの土地の資源を活用した『まちの未来』を描いてみませんか？

間人と書いて、「たいざ」。この難解な地名は、戦火を逃れてこの土地に身を寄せた聖徳太子のお母さま「間人皇后(はしうどこうごう)」が、滞在中の村人たちの手厚いもてなしに感謝し、この土地を去る際、自らの名「間人(はしうど、これも難解ですが…)」を贈りました。しかし村人たちは畏れ多いと、皇后が「退座」したことにちなみ読み方を「たいざ」としたとされています。

地名にはこんな由来がある間人地区は、人口約 1800 人の小さな港まち。丹後半島の北西部に位置し、「山陰海岸ジオパーク」に指定されている表情豊かな美しい海岸線が続き、間人漁港の 5 隻の底曳き漁船で水揚げされる松葉ガニは「幻の間人ガニ」として有名です。

夏は海水浴や青の洞窟、冬は間人ガニを求めて、地域の旅館や民宿も観光客で賑わいます。

また、年間を通じて多くの釣り人が集まる人気の釣りスポットでもあります！



こんな町になればいいな…という「10年後の未来を見据えて」、
間人のことをもっと知って欲しい！ まずは間人ファンを獲得したい！
そんな想いで新しいまちづくりが本格的にスタートしています。

現在もこの地域の経済を支えているのは漁業ですが、かつては丹後ちりめんの機屋も多く存在するなど、経済的な面はもちろん、その歴史や文化財・景勝地など文化的な面も含め、間人は丹後地方を代表する町でした。今でも夏(海水浴など)や冬(蟹など)にはこの土地の魅力求めて、多くの観光客の方が訪れてくれますが、かつての活気を知る地域の人々は今の姿に「もの足りなさ」を感じ、未来の姿に「不安」を感じています。

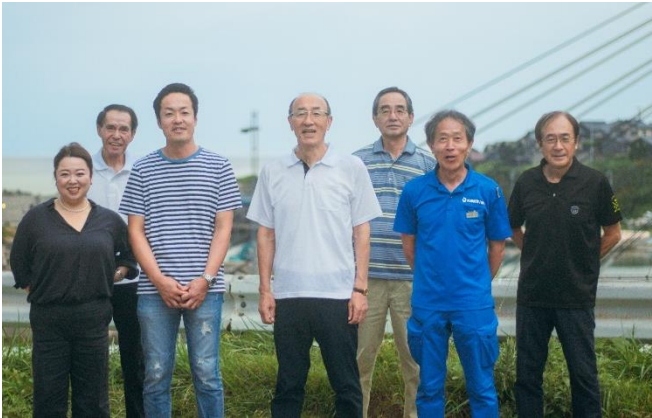
でも、この危機感をキッカケとして、「この町を再び多くの人々が集まり、楽しみが共有でき、笑顔が満ち溢れる活気ある町にしよう！」と地域の人々が動き始め、新しい人材やアイデアを待ち望んでいます。

「まるっぽ間人」というプロジェクト推進協議会を設立し地域の未来のことを真剣に考える場をつくらせたり、同志社大学と連携し若く新鮮な発想を取り入れたまちづくりワークショップを実施したり、都市部からまちづくりの専門家を招いた「農山漁村アイデアソン」を実施しこれまで交流の無かった人たちと積極的に交流したり、自分たちだけでは思いつかない新しい価値観や突き抜けたアイデアを取り込みながら、まちづくりにチャレンジしています。この地域の歴史やロケーション、新しいことにチャレンジする地域の方々の姿勢に興味を持った芸術文化活動を行う団体(TOMORROW さん)が、歴史や風土・暮らしの知恵や美意識・アートや職人の技を通して、未来への希望を探していくような実験場的な拠点をつくられるなど、新しいまちづくりが少しずつ「形」になろうとしています。



「10年後のあるべき姿」を共に考え、ひとつひとつ形をつくっていききたい！
余白いっぱいの「まち」にあなたの色を存分に加えた「未来」を描いてください！

バラエティ豊かな海の幸や多くの癒しを与えてくれる海をはじめ、ドライブに最適で色んな表情を見せてくれる海岸線、活気のある漁港、熱い思いを持った地域住民など、地域資源を最大限に活かしてくれる方を募集します。チャレンジや新しいことが大好きな地域の人たちの全面バックアップのもと、「創造」する楽しさを味わってください。



ここで遂行いただきたいミッションは大きく3つ

- ① 地域内の空き家物件を活用し、人が集まる拠点をつくる！
※地域のサポートのもと、候補選び～所有者との交渉～活用方法検討～構築に至る具現化を
- ② この土地に興味を持って集まり、一緒に「未来」をつくってくれる仲間＝関係人口を増やす！
※移住・定住をしてくれることも理想ですが、まずは想いを共にできる仲間・ファンづくりから
- ③ この土地の魅力・苦勞・未来を地域内外に向け、しっかり発信する！
※まずは、地域住民の方々に「未来」のイメージを見せ、巻き込むことが重要

～具体的活動の一例～

- 拠点づくり: 地域活動の拠点であり、地域内外から人が集まる「目的地」となる場所づくり
物件選び～コンセプトワーク～計画～空間づくり～コンテンツづくり …
- 人集め: 未来を一緒につくる人を、地域の人や自身のネットワークを活かしたアナログ手法と
SNSなどを活用したデジタル手法で広く地域内外から集める
- すでにいる(ある)人・取り組みとの連携: 想いを共有する大学や団体との更なる連携(地域との橋渡し)
- イベントの企画・運営: 体験型など地域やここでの暮らしのことが感じられるようなイベントの開催
- まつりの継承: 地域の誇りである「夏のみなとまつり」と「秋のけんかまつり」をより活気のあるものにする
- 空き家調査: 地域の人たちと連携してアイデアを具現化する実験場(活用可能な空き家)を増やす
- 資源調査: 地域の人たちには当たり前で見過ごしてしまいそうな新たな魅力＝資源の発掘
- 情報の発信: SNSなどを活用した情報発信を通じ、この土地に興味を持つ人を増やす など

～そのために、こんな人・こんな能力を持った人を探しています～

- ・【熱意】とにかく、「行動を起こしたい」「チャレンジしたい」とウズウズしてる人
- ・【求心力】人が大好きで、人を巻き込みながら、何かを成し遂げたい人
- ・【発想力】突拍子もないことを思いつく人、またそれを口にできる人
- ・【起業家精神】関係人口の創出や滞在型観光の推進など地域の事業化プロジェクトに取り組みたい人
- ・【企画力】「間人のファン」獲得を目的としたイベントを企画したい人
- ・【演出家】活きのいい海産物など今あるものを使った新規事業をプロデュースしたい人
- ・【販促力】お任せいただければ、間人をうまく売り出せるという自信がある人
- ・【多角視点】色んな角度からモノを見ることができる人
- ・【その他】これは誰にも負けない(であろう)という強みを持っている人

すべての能力を持ったスーパーマンを探しているわけではありません。

もちろん、おられるなら喜んでお迎えしますが、何かひとつでも「売り」がある人、これから色々な能力を身につけるため、あれこれチャレンジがしたい人をお待ちしています。ぜひ、あなたの『得意技』を教えてください！

【委託型】京丹後市地域おこし協力隊 活動条件

現在、京丹後市で活躍する協力隊は12人です！

個々の活動だけではなく、みんなで連携しながら活動しています。あなたもその一員になりませんか？

◎報償：月額27万円（活動費及び各種手当含む）

◎働き方：兼業副業OK！個人事業主として市と委託契約を締結します

◎その他：住居、パソコン、車両は個人でご準備ください

※協力隊として、3年間活動する意思のある方を募集します。

※原則、居住地は丹後町間人地区とさせていただきます。（物件の斡旋可能）

※原則、応募前に一度は京丹後市に来てください。地域の方々と交流・体験いただきながら、ここでの暮らしをイメージしてもらいます。

現地でのワークショップイベントを計画しています。（交通費等は自己負担）。

※募集詳細は、京丹後市ウェブサイトをご覧ください。

